

大坂長堀佃屋藤兵衛文書概要

1: 文書群番号	076001
2: 文書群名	大坂長堀佃屋藤兵衛文書
3: 出所	佃屋
4: 家業・役職等	未詳
5: 地名	大坂長堀白髪町／大阪市西区新町2・3丁目、北堀江2～4丁目
6: 行政区分	松平忠明領／幕府領／大阪市西区
7: 歴史	大坂長堀白髪町は大坂三郷南組、木材問屋の多い場所で知られる。なお尼崎宮町出屋敷(佃屋藤兵衛母出身地)は現在の尼崎市西本町7・8丁目付近で、寛文9年(1669)尼崎藩主青山氏による中国街道付け替え以降、新たに形成された町場である。
8: 伝来	本文書群は当初伊藤勝三氏より神戸新聞へ託されたが、史料館の郷土史料充実のため、昭和51年(1976)にあらためて同社より史料館へ寄贈された。平成15年(2003)2月に整理・目録作成を完了。
9: 史料入手先	粉川大義氏(神戸新聞阪神総局)
10: 点数	2点(目録件数2件)
11: 年代	文化2年(1805)
12: 構造と内容	本文書群は、文化2(1805)大坂長堀白髪町佃屋藤兵衛が母の出身地を領する尼崎藩に白銀を上納した際の受領証書・藩主ほかの褒詞書付である。
13: 関連史料	-
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	松迫寿代